



2021年2月26日

千葉大学医学部附属病院に対する寄付について ～DMAT・ECMOカー導入に対する支援として～

新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々にお悔みを申し上げますとともに、罹患された方々、被害や影響を受けている方々に心よりお見舞い申し上げます。

千葉銀行（頭取 佐久間 英利）は、2021年2月26日（金）、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れを積極的に行っている千葉大学医学部附属病院に対して1千万円を寄付しました。

同病院では、ECMO（人工心肺装置）を必要とする重症患者の搬送や、災害発生などの緊急時にDMAT（災害派遣医療チーム）の活動に用いられる救急車両を今年秋に導入する予定であり、寄付金はその購入資金の一部に使われます。

同病院は地域医療の中核的な存在であり、当行はこれまでも「千葉大学医学部附属病院 臨床医学研究助成会」の会員企業として支援を継続してきたほか、今年1月には「遺言を活用した遺贈に関する協定」を締結し、業務面での連携もスタートさせています。

当行は、今後も新型コロナウイルス感染症の最前線に対応にあたられている医療機関や医療従事者の皆さまを全力で応援してまいります。

以上